

埼玉県では平成30年4月1日から 自転車損害保険 への加入が義務となりました



5分20秒に1件
自転車事故が発生中



小学生男子(11歳)が夜、自転車で家に帰る途中、歩道と車道の区別がない道路で歩いている女性(62歳)と正面衝突しました。女性は意識が戻らない状態となりました。

賠償額は9,521万円でした。(神戸地方裁判所判決)

このように高額な賠償金を支払わなければならないケースが出ています。

■ 自転車事故は減少ですが、賠償額は高くなっています

	人身事故件数	死者数	負傷者数
2017年	7,562	32	7,589
2016年	7,895	33	7,933
増減数	-333	-1	-344
増減率	-4.2%	-3.0%	-4.3%

埼玉県の自転車事故発生数は、わずかに減少していますが、自転車事故の責任は重く、賠償額も大きくなり未成年でも責任を免れることはできません。

こうした時代状況の中で、埼玉県では自転車事故にかかわる被害者、加害者の経済的な負担を減らしていこうと「埼玉県自転車の安全な利用の促進に関する条例」を見直して自転車を使う人や会社に、自転車損害保険へ義務として入らなければならないことを決めました。

この「自転車損害保険」とは、自転車が原因で起きた事故で、他人の命あるいは体に損害を与えるような場合、その損害を補償する保険や共済をいいます。

■ 保険加入の金額は？

「では、保険に入る金額はどのくらいになるのでしょうか」

保険料は月額260円くらいからさまざま。多くの保険会社から保険料、補償内容などを考えあわせて自分にあった保険を選択しましょう。

例としていくつかあげておきますが、詳しいことはインターネットで検索するか FICEC に問い合わせてください。

	保険料(年額)	死亡補償	後遺障害補償	入院保険金日額	手術保険金
Aプラン	2,900円	300万円	-	6,000円	-
Bプラン	2,290円	300万円	300万円	3,000円	1.5万円 or 3万円
Cプラン	1,960円	100万円	100万円	1,500円	-

※未成年者が自転車を利用する場合は保護者が加入します。

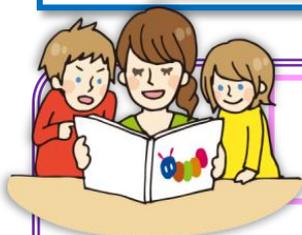
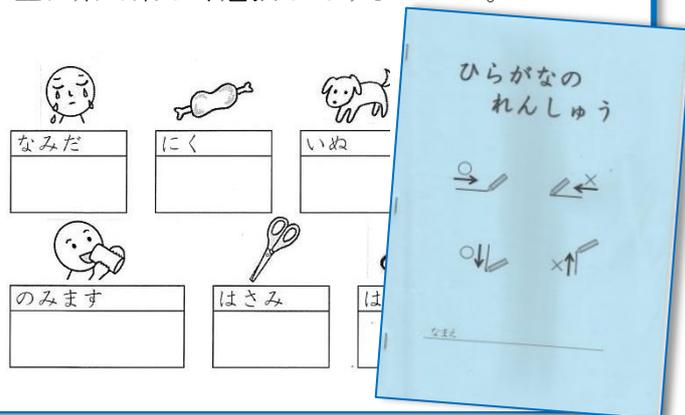
新しく便利になった 富士見市中央図書館

富士見市の中央図書館が1年ぶりにオープンしました。今まで多くの利用者からの願いを取り入れた市民が利用しやすい図書館となりました。ここは本を借りるだけでなく、赤ちゃん連れの談話室、ビデオ映画館、ミュージックコーナーほか市民が気楽に参加できるようさまざまな工夫が一杯の新しい図書館になっています。他に子ども用のお話会や大人用の名画鑑賞会などもありますのでぜひお出かけください。



日本語勉強のスタート 「ひらがなのれんしゅう」

FICEC 日本語教室では毎週木曜日の10時から12時まで、自由参加で日本語の勉強ができます。このほど、日本語をはじめて勉強するひとのための「ひらがなのれんしゅう」という勉強帳を作成しました。絵がたくさん入った覚えやすいテキストです。1冊100円です。教室に来て楽しく勉強してみませんか。



日本語を勉強中のみなさんへ 先輩からのアドバイス①

◆フィリピンから来たNさんの場合◆

仕事で来日した時は、日本語はできませんでした。

結婚して子供ができて、それからは「子どもを守るのは自分だから」という強い気持ちで一生懸命日本語を勉強しました。夫の母に子どもを預けて、夜の日本語教室で勉強しました。

子どもが幼稚園に入ったとき、「ママ友」を作ろうと頑張りました。日本語があまりできなくてもその友達を家に招いたり、学校のPTA活動に積極的に参加しました。ママ友ができると、みんなが学校からのお便りを読むことを手伝ってくれました。

字を覚えるために毎日日記を書きました。「日本でずっと暮らしていく」という気持ちで一生懸命勉強しました。日本語がわかるようになってくると「日本の社会が知りたい、もっと勉強したい」と思うようになり、仕事を始めました。職場でも友達ができて仕事も面白くなってきました。そして日本語が上達してくると自分の日本語のレベルが知りたくなり、日本語で運転免許に挑戦して取ることができました。

韓国料理教室



話題の韓国料理が自宅でも作れます。

開催日時が決まりましたら
Facebookでご案内いたします。

場所；「ピアザ☆ふじみ」

ふじみ野駅東口すぐ

費用；3000円(材料費込み)

持ち物；エプロン、三角巾

講師；安銀柱(アンウンジュ)

メニュー；チーズタッカルビ、
わかめスープ、じゃがいものチヂミ